

平成15年度 分野チェックリスト

分野名	健康・福祉分野		分野番号	3
分野担当部	保健福祉部	関連部	区民生活部、環境清掃部、教育委員会事務局	

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化

番号	指標名	単位	指標値			目標値	
			12年度	13年度	14年度	19	年度末
1	国民健康保険一人当たり医療費	円	159,330	161,496	159,555	減少させる	
2	公共施設バリアフリー度	%	—	36.3	36.9	上昇させる	
3	特別養護老人ホーム入所者平均待機期間	月	—	1年4か月	1年8か月	1年以内	
4	高齢者で生きがいを感じている人の割合	%	—	70.4 (71.4)	77.5	80%以上	
5	保育園待機児童数	人	125	120	178	低くする	

指標の状況、定義は裏面をご覧ください。

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化の状況(分析)

1 13年度に比較して一人当たり医療費は若干減少したが、この指標は、診療報酬改定や受療状況の変化などの多様な要因を反映するものであり、直接的に、区民の健康状態が向上・改善した結果と読むことはできない。また、14年度に行われた会計年度処理区分の改正に伴う新たな一人当たり医療費の算出方法が国から示されていないので、14年度の実績は14年3月～15年2月までとして暫定的に算出したものである。このため、現時点では他地区との比較は行えないが、13年度までは23区内で最も低い値であった。(国が算出方法等を示した後、改めて数値を確定する予定)

2 改修工事などの結果により僅かながら上昇した。しかし、施設の種類によって優先項目が異なるので、現在の定義のままでは、指標値の明らかな改善や明確な目標設定は難しい。このため、15年3月策定の「杉並区ユニバーサルデザインのまちづくり推進指針」では、今後、施設の種類別に最低限必要な整備基準(優先整備項目)を設定・調査し、整備計画を策定した上で、指標の定義の見直しと目標値の設定を行うこととしている。

3 14年度は定員207名の新規施設の開所及び既存施設への入所により、過去最高の420名(13年度は190名)の方が新たに特別養護老人ホームに入所したが、入所者の平均待機期間は13年度に比較して4か月ほど延伸した。これには、介護保険制度開始後に入所希望者が急増したことのほかに、新規施設の開所を長年待ち続けてきた人が今回入所できたことも影響しており、既存施設へ入所した方だけの待機期間は1年6か月であった。また、区外契約施設だけで見ると、待機期間は1年1か月であった。

4 表中には行政実態調査による成績を示した。14年度は13年度に比較して約7%の増加がみられたが、この調査では標本数が限られておりデータの変動が大きいことから、評価にあたっては、継続した調査によって中期的な傾向を把握していくとともに、3年ごとに実施している高齢者実態調査の成績(13年度の成績を*印で表示)と併せて吟味する必要がある。

5 保育園の入所定員数は14年度中に43人分拡大している(4,818人 4,861人:0.9%増)。しかし、対象となる就学前の児童数も362人増加しており(20,129人 20,491人:1.8%増)、これによる対象者増及び近年の保育需要の増加の影響を受け、待機児童数は58名増加した。

チェックリストの状況(参考)

番号	名称	関連データ(他自治体との比較等)
	定義	
1	国民健康保険一人当たり医療費	<ul style="list-style-type: none"> ○ 23区の一人当たり医療費(13年度) 1 杉並区:161,496円、2 中野区:165,244円、 3 目黒区:169,846円、・・・23 荒川区:205,768円
	一般療養費諸費の費用額 / 一般被保険者数年間平均 (老人医療保険対象者を除く:70歳未満)	
2	公共施設のバリアフリー度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 同様な定義を用いている自治体はないので、他自治体との比較は困難。 ○ 区立施設は、不特定多数が利用する施設(体育館、敬老会館、児童館、集会施設等)のみを対象とした。 ○ スロープ:109/157 = 69.4%、自動ドア:79/157 = 50.3%、障害者トイレ:84/157 = 53.5%。その他の事項の整備状況は「いつてきまっぷホームページ」で公開・更新している。
	公共施設(区立施設)において、スロープ・自動ドア・障害者用トイレの全てを備えている建物	
3	特別養護老人ホームの入所者平均待機期間	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定義も含めて公表している自治体はないため、比較は困難。 ○ 10月から優先入所制度を導入するため、待機期間の考え方については今後再検討が必要。
	特別養護老人ホームに入所した人のうち、申し込みから入所までに要した待機期間の平均月数。ただし、14年度までは、原則として、申込み順となっている。	
4	高齢者で生きがいを感じている人の割合	<ul style="list-style-type: none"> ○類似の調査での結果 江東区:71.7%(13年度)
	65歳以上のうち「あなたは、いま生きがいを感じていますか」に「はい」と回答した人の割合	
5	保育園待機児童数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東京都23区:2,555名(平成15年4月)
	翌年度4月1日の待機児童数	
特記事項		